



(年三十九百五千二紀皇)

月 每
行發日五廿・日 拾

購讀料 廣告料
印刷所 發行所
編輯者 印刷者
印刷所 發行所
編輯者 印刷者

學ススポーツの理想化

神奈川縣立湘南中學校

對組競技の組織(續)

(8) 競技と水泳とは相當の運動時間だけではクラス単位となつて充分その効果を収め得ないから特に競技會を行ひます。而して本校の新記録を作つたものには記録證を與へます。

榮光輝く三旗と手拭

斯くしてこれら九種目が完了しますと、總得點の最も多い組に三旗(School Sports Superiority)優勝旗を授與し、その組の名譽を表彰します。

實施後の結果

對組競技を實施して數年、その結果を観察いたしますと効果の大なるは論を俟たないのであります。九種目以外に

ないのではありませんが、かかる對組競技實施以來、生徒の健康が益々向上し、缺席者、休學者の少ないこと、相當の勉學に堪へる事などの事實に現はれて來てゐるのであります。

職員室の零園

全校體育の向上發展は全職員をして此の事に關心を斷たせるわけには行かないのであります。各組の主任は運動練習中も、對組試合實施中も恒に生徒と共に策勵し、運動し

結言

私共は教育者であります。知育を談じ、德育を語ること必要であります。近頃の如く全目に亘り、全世界に亘り、動熱の旺盛の秋、誤れ見解に盲目的に押され、或は意識的に邪惡の道を進む者は往々にして耳にすることもありますが、それは獨り體育の眞の向うを發展を阻害するに止まらず、延びては、相關聯する教育全般の進歩發展に作用し、その弊害は恐るべきものがあります。

第八回女教員隨録

講演を伺つて

神師附屬小學校

三浦富美子

以前に長らく當附屬小學校の主事をしてゐらつた、いまは村上翔磨雄先生、三年つて埃だらけの窓ガラスを、雪の功を積まれました。先頃、御歸朝後の第一聲とも言ふべき講演會が、當附屬小學校で中々さうでなくて、一週のうち土曜日がさうした洗濯物に日になつて居りました。この日はどの家庭でも主婦が先立ちでやるのださうです。如何に規律的な日常であるかその一斑が窺はれます。

第九回

女師附屬小學校 西村マサ君

落とし主は誰?

十一月二十四日、茅ヶ崎で實業補習教育記念講演會の當日出席者中(貴重な落とし物)をされた方あり、至急、同校長宛問合せられたし。

久良岐通信

久良岐郡教育會教科研究會

十一月二十二日六浦莊小學校に於て女子師範小幡教諭指導の下に體研研究會を開いた。

金澤小學校

算術研究 金澤小學校では今後算術科

尚同窓生役員は此際記念として母校に時報サイレンを寄贈することを決議した。

生理的後位兒童の教育 (其の二)

横濱市間門小學校長 宮田直次郎

六、教養の實際
この種の兒童の教養は、國民教育としての一般的方針の外に、その身體的状況より来る要求に合致しなければならぬ。即ち兒童の現状の原因の推究と可能的體位向上の方法及缺陷補充の手段を究明し、實施するに於ける。以下項をあげて本校に於ける教養の實際に就て述べることにする。

(一) 教養の基礎としての既往状況及環境調査

新に入學した兒童の心身兩方面の既往を知ることは該兒童教養の基礎として先づ第一に必要なることである。本校に於ては所定の身體検査書及體質調査用紙を用ひて父母の健康度、妊娠時の母の健康状況、兄弟姉妹の健康状況を調査して、兒童現況の先天的條件を視ひ、又兒童の既往症、食物攝取の状況、運動に對する態度、性向家庭に於ける保育の實際等を調べて、過去の既往を知ることにして

(二) 自然の恵福の享受

養護施設經營に於ける重要な項目は、清潔なる空氣、充分なる日光である。戶外、森林、海濱等を兒童の生活場とする所以は、全く前記自然の二大恩恵を満喫しようとする意圖に外ならない。故にオープンエアースタイルの位置選定はこの二大恩恵から見てなされるのである。本校創設に當り種々地を求めた後、現在の位置即ち海濱にして森林、丘陵の間を選んだ事は、本施設成就の第一因子を捉へたものである。日光の生物體に及ぼす作用の主なものは紫外線の作用であるから日光の利用は、この紫外線の多量な所で行なはなければならない。紫外線は塵埃、水蒸氣等に吸収されるので、紅塵萬丈の市中に於ける日光は、その健康的作用を極めて微

の運動具を使い、林間や海岸にある自然物を相手に餘念がない。戶外教養
(8) 戶外教養
狭隘な教室からなるべく開放して大自然の中で學習をさせることは、教室學習の非衛生的條件を驅逐して、自然の恩恵を學習中にも享受できる子供らへの福音である。尙この事については次項で述べることとする。

(4) 遠足及健康クラブ
心氣轉換、見學、團體的訓練等の目的の外に遠足の重要な意義は、自然の恵を受けることにある。春秋二季の大遠足の外に學級単位として、時々行ふこととしてゐる。この外郊行の美名勝、古蹟などを巡りつつ健康の増進を圖る目的で、土曜、日曜を利用して健康クラブの名の下に小團體で出かけることもあ

(三) 學習及作業に於ける考慮

(1) 始業と終業
本校の特別學級へは可なり遠くから通學してゐる者もあるので始業時刻を遅らせることを考へても見たが、衛生訓練上早起は望まれないことである。朝禮は全校同時刻としてゐる。たゞ朝禮後山登の時間を約二十分としておくから、學習開始は多少余裕があることになつてゐる。

(四) 運動の統制と休養

健康増進上運動の必要は云々といふが、身體的状況によつて一律にゆかない。運動はその程度に適應するやうに統制し、過勞に陥らせないことが必要である。體育指導の眼目は身體的缺陷の補正と、異常の矯正を先とし、興味の爲に過勞に陥る様な遊戯や極限の運動は始はされておくと、この種の運動は最も愉快にこころをこめて行はさるべきである。興味に取扱ひ、運動趣味を養ふやうにし、體力を回復してきた時には積極的運動も交へ、虚弱といふやうな觀念は驅逐してしまふことが必要である。

(五) 營養の給與

營養の不良は體位の低下の有力なる原因であるから、かかる兒童の救済と向上には營養の給與は欠くことができない。通學制であるから、營養が實行されてゐない現在では、營養補給の意味で牛乳及菓物を給與してゐる。

(六) 衛生教授及訓練

衛生一般の知識とその實行は必要事項であるから、各教科に現れた衛生的教材の取扱ひは力を入れたと共に時季により週然事項による附加的材料をとり、兒童の知見を啓き、實行にまで至らせることに力めてゐる。

(七) 一般訓練

發育の遅れてゐる子供がある爲か、一般に幼稚のやうに見え、その生理的必然から家庭訓練の寛大のためか幾分むら氣が目につく。體位の向上には一面規律的生活が極めて重要であるから、個人生活には克己持久を目標とし、社會的には協調と禮儀を主眼として、勤勞の精神堅實の念を培ふことを作業を通して努めてゐる。

(八) 診療、手當及定期検診

診療は必要ならば毎日、平常は隔日に出勤、前以て各級より調べておいた要検診兒童の検診と應處置をする。隔月に定期検診を行ひ、體質、體型の狀況、貧血、脊柱胸廓異常、筋肉發育、營養及疾病等の項目につき健康狀況の調査をなし、教養効果の吟味と反省を向後の教養の基礎としてゐる。

(九) 特別教養

(1) 海水浴
七月十日より月末迄行ふ。この時期は紫外線の利用と海水の生理的作用とを利用するに絶好の時期である。實施せしめる兒童は先づ校醫の検査を経たもの、其日其日決断するかは一定の條件によつて決する。

(一〇) 調査研究

兒童の既往及現在の心身狀況の調査及び兒童心身の發達改善度の測定は、教養の具體的決定の基礎として、又教養効果の吟味と反省上重要なものであることは前記した通りである。現在本校に行つてゐるものは次の諸項である。

- (1) 既往症及現在症調査
(2) 身體發育調査
(3) 異常矯正調査
(4) 健康度改善の調査
(5) 家庭よりの觀察

(一一) 家庭との連絡

教養の特殊性に鑑み家庭と學校との連絡は極めて大切である。榮養の主要問題たる睡眠營養の大に於ける衛生の實際、日常生活に於ける生活構築は家庭に於て大部分行はれてゐる事柄である。乃て學校は教育全般に關する方針を家庭に傳へ、家庭は兒童の先天的條件、過去の經歷、最近の變化等を學校へ知らせる。かくして學校は家庭に於ける兒童生活を熟知し、家庭と學校の教育を理解し、學校に當らうとしてゐる。

(一二) 家庭との連絡

既往症及現在症調査
身體發育調査
異常矯正調査
健康度改善の調査
家庭よりの觀察

寄贈圖書紹介

安藤紀一著
野山文稿 並製七拾錢
山口縣教育會寄贈
山口縣教育會寄贈
安藤紀一著
野山文稿 並製七拾錢
山口縣教育會寄贈
山口縣教育會寄贈

本會への特志者

金五圓
横濱市中區港町 朝長産婆養成所から
本會發行教育時報事業費として、特志を寄せられたものである。

比々多學校寄贈

比々多學校寄贈
本會發行教育時報事業費として、特志を寄せられたものである。

訓幽因録

訓幽因録
山口縣教育會寄贈
山口縣教育會寄贈

相談 武史

金澤文庫印の研究(續)

關靖

(四)重郭墨印の種別

第六種 横五分五厘、縦二寸四分五厘。...

この種の印記は、現在の所では内閣文庫現蔵の「法曹類林」...

第七種 横六分五厘、縦二寸四分五厘。...

この種の印記は、前にも述べた様に近藤正齋が模刻したもので、...

昭和八年の回顧

一 燈

一月十六日以降、月餘に亘つて世界に其成行を注視せられた日支紛争問題の審議は、結局四十二對一票を以て國際聯盟規約第十五條第四項に基く所謂勸告案の通過に...

この種の印記は、前にも述べた様に近藤正齋が模刻したもので、...

この種の印記は、前にも述べた様に近藤正齋が模刻したもので、...

この種の印記は、前にも述べた様に近藤正齋が模刻したもので、...

この種の印記は、前にも述べた様に近藤正齋が模刻したもので、...

この種の印記は、前にも述べた様に近藤正齋が模刻したもので、...

この種の印記は、前にも述べた様に近藤正齋が模刻したもので、...

この種の印記は、前にも述べた様に近藤正齋が模刻したもので、...

初等教育實際的研究叢書

労働教育の實際

新應能教育の理論と實際

第一回發表新刊三種

浦島小學校の労働教育は大正十二年その緒につき爾來十年着々として實績を挙げた。...

貴重なる 體験と眞 摯なる 究を求む

新教育の建設は教壇生活が築き上げた體験や心と心の觸れあふ教室に生れた研究に待たねばならぬ。...

發行所 東京市東區千代田二丁目一〇番地 英書院 東京市東區千代田二丁目一〇番地

郷土教育聯盟を統へて立つ

盟主女子師範の 研究大発表會

舊殻を脱しての叫び 純正日本教育の 顯揚へ

郷土 日本精神の強調

附屬の悩み

世間の頭はとかく附屬を忘れたが、子供から見れば、なれた里親の不仕合せ、附屬たる母校も今や經營至難なりとは、全國的の叫び、恐らく識者の聲であらう。

昔を語れば明治の末期から大正の始頃までが今からみれば附屬の人氣を集めた全盛期であつた。

其後押寄せた教育の思潮が地方の研究熱を煽り立て、隨處に自由に旗擧げをしたものが異彩を煥發してきた、その巨星たる者に田島の體験教育である。

彼等は非常に活潑にそして大膽であつた。

「微の生えた附屬の授業なんと観る者がしない」と誰か、何處かで言つたとあれば、それは附屬の退歩ではなく、地方のレベルが高くなつたといふ者だ。

普通の小學校にない自由研究の特権を有しながら、傍目には窮屈に見えるのが一般の附屬たるもの、蠢動である。

あゝした児童、あゝした家庭、速成早熟に鼻をよせる親達の聰明な眼を怪しく光らせたり、其の上籬生の手ほどきには寧ろ凡庸でなくてはならぬと、二重に大事をとつてはよもや間道の險を冒す氣にもなれまい、先づ轉倒でも怪れない坦道をと賢明の策に出る。

乃ち創獨味は地方に移る、文部省が今呼びかけてを、自學とか、作業とか、勤勞とか、それでさへ何うやら筒抜けとなりけりな小學校に、先驅けて所謂縣下に堂々範を垂れるは、昔なら附屬であつた。

否とよ、唯それが鮮やかさをかくと、意氣の消沈を示してゐる迄である。

先年、千葉の自由教育が餘りに雷名を天下に轟かせすぎたため、暴壓にうち砕かれて殘骸を悲惨の野末に曝したことを知つた者に、安全地帯のほか、歩道さへも安心して、潤歩し得ると誰か言ひ得る。

唯着せかけた絹衣の上を靜かにしなやかに撫で廻す上品振、それを附屬授業の誇とする。

これは單なる經營者の罪許とは申せまい、吾人は同情する。

意氣昂る

然るに我が女子師範附屬小學校が、郷土教育の盟主として獨占舞臺に踊り出し、斷然、革新の旗を翻して、外は全縣的に研究網を張り渡し、内は本校と附屬職員及び生徒が、此處三年間の大車輪研究の成績をこの日第三回の大研究発表として開催しての一大獅子吼、宛然拾數年前の全盛期の復活を思はせて附屬のため氣も

全校揃つての努力

それ無理もないこと、結城校長の挨拶にも、着手後三年になるが、初年は材料の蒐集準備、次年はこれを整理し三年目でやつと研究に入るこゝが出来たとあるのをみて、全職員が努力の程が思はれる。

然るに世間は郷土教育の上、既に早や倦怠の色を投げて、所謂初物喰ひの根性を現はしたのであるまいかと慷慨一番し、吾人は層一層この種の研究に縦横邁進すべきであるとの叱咤激勵は、まさしく然りと頷かれた。

次に東條、秦、倉田教諭の有益な研究意見発表あつて午前の幕を閉じ、

午後は横濱吉田の永島才司君、川崎宮前の柳橋幸輔君、都筑都田の齋藤哲君、足柄上

金田のの辻村君造君、等の研究発表に、郷土研究家片岡永左衛門氏の箱根交通史につき講演あり第一日を終つた。

當日の來會者二百五十名

第二日

午前九時開始の附屬實地授業(一時間)は前日の通、發表意見には、長岡主事の「我等の郷土教育」に、

個性日本の教育へー日本精神ー郷土精神 横濱市民一を概論細説し、島村訓導の「郷土教育の要諦」と之の具體相一添田訓導の「郷土教育を基調とせる理科教育の再考案」の題下に各熱舌を揮ひて、聴衆を酔はせて午後文藝の大講演あり、四時閉會、この日の來會者は前日を突破した日であつた。

縣況では齋田視學官、萩田森屋、龜谷、龜井各視學臨場、大體に於いて努力の酬ひられた大成功の発表會であつた。

横濱市立野小學校 讀方科 發表會

國語教育に對する本市の權威者、杉崎校長の經營になれた野小、押し懸けての參觀者は、部内限りの發表の割には、受附に雜踏を極めたものである。

八日の午前八時四十分からすぐ丘での女師附屬の同じ發表を兼ねての類出しに足を疲らせらせ校長連も數勤なくなかつた。

呼物が、指導講師の芦田恵之助先生だ、尋六を、教材、釋迦一の課で示範授業、

國語科は三回、九訓導、體操科は拾訓導の研究授業、午後一時から二時迄に示範授業、終つて批評會校長の挨拶、意見發表型の通り、

最後が「讀方教育の着眼點」につき講演、

同校の刷物の中に、「國語讀本新出、讀替 漢字部索引表」兒童用として簡單摘要至極便利な物である。

「讀方指導概要」一部

「〇〇〇〇學年讀方概要」卷十二部、之れは杉崎校長頭腦で始めて出來た刷物、

れた内容は言はずと知れた、卷の教材觀と取扱上、浸んだ校長の心血の現れであらう。

體操科の連絡時間配當が氣が利いた思付きた、創始何校であるかは知らぬが、校でもやつてゐた。

(八) 遷變の情事育教縣川奈神

今般郷學校設ケ方に付、入費組立並門弟心得等之儀は、別紙郷黨假議定郷學校假規則書壹冊、組合親村々之差廻し爲二寫取一候條、其子村々に於而不二洩落一様寫取り、右之法則に照準し、學校取立可申事。

辛未八月

郷黨假議定

神奈川縣 郷學校掛

郷學校假規則

一、學校舍屋ノ儀ハ、最寄寺院或ハ明キ座敷ニテ相濟スベシ。別ニ一字新ニ經營スルハ、衆議ノ有無ニ任ス。

一、一村一人宛學校世話役人ヲ置クヘシ。別ニ役員ヲ増サス村役人兼務ノ事、然レ共相應ノ人材アラバ助勤ヲ命ズベシ。

一、役人ト雖モ獨裁專決ヲ許サズ。必ズ衆議ヲ取ルベシ。

一、學校諸入費ノ制方會議定日、

正月十五日

七月十五日

但シ會席酒ヲ禁止ス。

一、入費會議ノ廉書、

師匠扶持飯米月給ノ定メ、

學校掛リ世話人ノ手當ヲ定ム、

學校家賃修繕ノ事ヲ議ス、

學生筆紙置代ノ定メ、

學校書籍ノ調へ、

右廉々引當テ假制スヘシ。

一、學費出シ合ノ儀ハ、當家童兒ノ有無ニ不レ拘、家別一統公平ニ割合スヘキ事。

一、衆議ノ上貧富ノ割方差別ヲ立テ、狼リニ自儘勝手ヲ申立間敷事。

一、割方差別、

凡十歩ノ内、

七歩 富者、

三歩 貧子、

一、富人貧民ヲ侮リ、貧民妄ニ富人ヲ食ルベカラザルハ勿論ナリ。

一、富入貧民ヲ侮リ、貧民妄ニ富人ヲ食ルベカラザルハ勿論ナリ。

一、學校取設ノ儀ニ付、平常不和ノ村方或ハ組合外無縁ノ村等ニテモ、斷テ私意ヲ張リ、公ヲ妨ゲ、學校ノ盛衰ニ關係シ、自然童兒ノ惡風ニ習ヒテ不睦ヲ生ゼサル様勿論也。

一、學費村割ノ儀ハ、學校居村隣村ト其遠近ニ從ヒ増減スベシ。其表如左。

一、入門式ノ事、

入門料 米壹升、

每月料 同貳合、

盆暮 同五合、

右ノ定額ハ貧富ニ拘ラズ一家一子ノ割、

入門料 米貳升、

每月料 同三合、

盆暮 同七合五勺、

右ハ一家兩人入學ノ割リ、代金或ハ現米ニテ集ルハ勝手タリ。尤師匠ノ私有所ルヲ得ス。衆議ノ上ニテ前條入費廉々ニ從ヒ、其定額ヲ議定スベシ。

一、學費正月ヨリ六月迄ノ入費ハ、正月ニ預ジメ假議割付ニテ、七月ニ勘定仕上帳ヲ調へ、七月ヨリ十二月迄ノ分七月半假定メ、正月ニ勘定仕上帳ヲ調へ、衆會ノ席ニ出シ衆目ヲ通シ、縣廳ニ達スベシ。

一、學校世話役、村々ノ内一ヶ村引請、當直月番シテ取締スベシ。

一、學校ヲ講讀シ、生徒ヲ罵ルハ曲事タリ。

一、師匠人物ノ儀ハ、衆議一決ノ上撰定スベシ。

一、學生ノ勤惰ハ、父母ノ越度タルベシ。

一、學費ヲ賦ヒ不人物ノ教師ヲ雇フベカラズ。

一、集會ノ席、衆議多端ナレバ入札三分ノ二ヲ以テ決スベシ。猶決セザルハ廳ニ達シ決ヲ取ルベシ。

學則

一、學則ニ二アリ。一ヲ村議ト云、里人衆議シ學費ヲ定ムル也。二ヲ法則ト云、官ニテ里人生徒ノ方向ヲ指揮シ、コレヲ守ラシムル也。

一、入學年期ニ至リ、生徒將ニ學ニ就ントスレバ、其師ト父子ノ名札ヲ廳ニ達スベシ。

名札ノ圖

御届申上候

何村何學校教師 何村何某弟 二男 娘

何業何某弟 何 誰

何業何某弟 何 誰

右當何月何日入門致サセ候

干支 何業 何某 印

何月何日 何業 何某 印

右郷學校所ニ差シ出シ、門人名錄ニ留メ置キ、其掛リヨリ廳ニ達スベシ。

一、六歳ノ子供 七月十五日ヨリ入門、

一、七歳ノ子供 正月十五日ヨリ入門、

一、十三歳七月マデテ勤學年限中トス、

疾病事故有ルニ非ザレバ廢學ヲ許サズ、年限ヲ滿タシム。其材ニ應ジ、其志ニ任セ、大學校ニ登リ、或ハ其郷學校ニ留學スル勝手次第ナリ。

一、課業持進ノ輩ハ、年限以内ト雖モ、横濱・東京ノ學校ニ入ラ許ス。

一、生徒徒組ヲ設ケ位長、五仲ノ幼年ヲ助クルヲ要トス、

表目

學校入費	同隣村	又隣村	一里内外	二里内外	村ノ遠近
高等	六貫文	五貫文	四貫文	三貫文	二貫文
高等	三貫文	二貫文	一貫文	一貫文	一貫文
中等	一貫六百文	一貫三百文	一貫文	六百六十文	六百六十文
中等	一貫文	六百四十文	六百七十文	五百文	三百四十文
下等	一貫文	六百四十文	六百七十文	五百文	三百四十文

凡右ノ割合ニシテ、村方都合ニ寄リ別ニ仕方相組ム儀ハ勝手次第、尤其段相届クベシ。

横濱小學校の縣指定

地理科研究發表會

老練な指導と活々した學級訓練

實地授課は午前九時二十分開始、二回互りに行はる。

尋四、三學級は郷土地理

本校は尋四第二學期から、每週一時、課外指導をなし、尋五になつての地理學問のための基礎觀念を與へるとあつて、郷土地理を授け、教授指導の本體を直觀勞作として

尋五、四學級は中國四國地方

何れも、中國四國地方を題材とし、或は産業、或は内海文化の發達、或は外洋の自然を作文、或は交通等、各級の異りを見せ

尋六、三學級はアメリカ洲

(一)中央平原の産業(二)東部の大工業發達の關係(三)北東と我移民問題等をとつて指導研究の各目的として取扱はれた。

地圖の利用 各教授者は兒童の質問にも、研究の再考にも、教師の説述にも、壁間を填めつくされた、各種の地圖、各種のグラフ統計表を臨機に指點應用してあります。處なく、

標準模型は又、半面教具と相待つて、共同研究の、相互應答の隨處に頭を出させ、具象的説明の用を勤めさせて兒童の研究興味を満足させ、共同作業の粘土地形の製作等、準備に於いては殆ど申分がない。

各教授者の説明の老巧なこと、板書の整理されたこと、態度の朗らかなこと、教師も兒童も、快活と元氣にみち満ちて、而もそれで教師の獨舞臺に陥ち入らない迄に、一方に巧みに問題と暗示とをおくつて絶えず兒童の自發活動を促がしては進み、進めては又促す、その教授者の指導技術の、全く手に入つたもの。

- 一、入せよ
- 二、地理的事實の問題
- イ、次の問に答へよ
- 例、小坂は何で名高いか
- ロ、次の産物の主産國をあげよ
- 例、綿 砂糖
- ハ、次の事項を二つ、組合せて關係づけよ
- 例、ブラジル、硝石、アルゼンチン、智利

○理法の考案に關する考查(例略)

- 一、地理的作業に關する考查
- 二、統計力による考查
- 三、改善されたる考查(田中氏案)
- イ、眞偽法
- ロ、然否法
- ハ、再認法
- ニ、完成法

- 一、實物郷燈
- 二、郷土室
- 三、模 型
- 四、標 本
- 五、地球 儀
- 六、繪葉書 三十枚
- 七、地 圖 七十八
- 八、掛圖製作統計表、分布圖
- 九、參考書 百二十冊

汗に輝く 宮前小學校

勞作教育を以て橋北に輝く宮前校を尋ねる。應接室に入ると校長の筆になる

「人間萬事在努力」の書が本校の精神を物語る如く掲げられてある。校長田代太郎次氏は有名な奮闘努力の人であり、智に秀で、辨によい手腕家であるが、この日出張不在のため、柏木武藤兩訓導の説明を伺ふ。

◎勞作教育方針

- 1、正 正善道への突進
- 2、明 自己價値の發見、無私の精進
- 3、和 共働勞作喜悅の情

◎實行要録目

- 1、感受する態度より與へる態度へ
- 2、消費する心より建設する心へ

- 一、臺。吊繩棒。踏切板
- (二)知育方面
- 地圖(二二) 地理用大模型
- (二六) 年表郷土大模型
- 算術器(約三千點) 理科
- 具手工用具
- (三)一般方面
- 成績揭示額(四二) 號令臺
- 級訓額。テーパー、水呑壺
- 掃除用具。バスケット。築堤。竹垣。池等。

校内の眼にふれるもので職員、兒童の汗のこもつてゐたものは無いと云つても過言でない。之等は校庭、應接室廊下、教室等壁間に到るに階間ない程陳列され利用されてゐる。世をあげて財難に呻吟する中にも特に甚しい農村にあつて、雄々しくも自力更生を目ざしてかく如き成績を示されてゐることに對し、深き敬意の念の生ずると共に、顧みて自責の念に堪えないものがあつた。

この多量な製作の地方兒童の實力養成への努力も目ざまして、農業科は昨年縣より選擧されて柏木君の努力輝き、加藤、武藤の男訓導を中心とする女性の遊戯指導も断然并練されたところを示してゐる。この様な超人的とも云べき仕事をなししつづつ、あつたのは、卒先して計畫は勿論、活躍の第一線に立つばかりでなく、宿直、夜學等をも自ら交替して部下の爲に便宜を計る田代校長の奮闘と情愛とが、部下の献身的な教育活動を支へた爲であることは云ふまでもないが、特に十數名の職員諸氏が校長の精神を體して、丸となり、搾取されるでな、勞働喜悅の情にかられて休日夜間をとらず愛と汗の生活を續けて居られることに對して、限りない尊敬の念が湧くも

一、生徒ノ階級ハ三等ニ分チ、又是ヲ三ニ分ツ。 初級 十二級 中等 十三級 下等 十六級 上等 十級 十四級 登門

右課業ノ先後ニ從ヒ、其級ニ進入スベシ。 一、先進ハ後進ニ教ニ、年ノ長幼ニ關セズ。 一、訓練ハ必ず課目課業ノ卒ラサルニ依リ、偏頗ノ計ラヒ有ルベカラズ。 一、一課ヲ卒レバ乃チ一級ヲ進ム。其師ヨリ役人ニ達スベシ。 一、手跡ハ暗誦ヲ專務トス。精書ハ日曜日ヲ定日トス。 一、手習ノ順序、

漢 音 五十假名、 西洋音 二十六字、數字、和漢様 本字假名交リ、 西洋字 二字綴、三字、四字、五字、六字、七字、

一、讀本并暗誦ノ序、 地理書類 日本、漢土、西洋諸州 歴史類 同上 算術書類 算術、算學、算學書、算學ノ順、 和算 九々、八算見一、除乘位、開立方、洋算 加減乘除、分數、小數、比例、開平、立方、代數、測量、已上。

一、洋單語 會 話、 右專ラ暗誦セシム。 一、諸學ノ奥妙眞術ニ入ラントスル者、必原書ヲ暗誦スヘシ。原書ノ業ニ進入セントスル者、必原書ヲ讀ヘシ。 文法ヲ略ルヲ要ス。

日 課 一、日勤不怠ノ者、各帳面ニ記スヘシ。 右帳紙、郷學校掛ヨリ渡シ遣ハス。 一、時刻割左ノ如シ。 夙業字間、朝五字ヨリ、六字マデ、 日本ノ朝六ツ、日ノ出頃。 暗誦習字、 正業字間、七字ヨリ、 日本ノ朝五ツ時。 同上句讀ヲ受ク。 遊息字間、十二字ヨリ、 日本ノ八ツ時。 夕正業字間、 講義ヲ受ク。 其他時間、 隨意集談。 修身ヲ談ス。 天地間物理、世界地理、 歴代人物理蹟

一、休日 天長節、五節句、毎月朔望。 禁中祭日、 正月、前年十二月廿五日ヨリ、 七月、二十日マデ、 其他郷學校内則小目ハ、教師ノ指揮ニ任ス。 食事、運動、 夕正業字間、四字マデ、 日本ノ七ツ時。 數學暗誦。 夜業、 生徒歸宅シ暗誦シ、寢ニ就クヘシ。 標本ヲ以テ日影ヲ計リ、時ヲ知ルヘシ。 一、正業字間擊拆ス。伍仲輪番之レヲ司ル。 一、日曜日ノ割、割ニ曆ヲ授クヘシ。日、月、火、水、木、金、土ノ順ヲ以テ數ヘ、八日目ニ當ル。 正業時間、 精書、

大學ニ進ムノ順序 一、郷學校中未タ初級ニ上ラサル者、十三才以下以上ニテ獨立起臥ノ便ヲ得ルト、志厚キ者、大學ニ特進スヘシ。 一、貧進生ト稱シ、組合村中兩人宛下學校ニ出スヘシ。 但シ入費ノ定額、毎月三兩ノ引當スヘシ。 一、廳下學校、東京大學南校規則、別冊ニ示ス。 一、人才成立ノ見込有テ、其家貧シク大學ニ入ヲ得サル者ハ、其村役ノ者協議シ助クヘシ。 一、大學校ニ入ル者、必ス專門學校ニ就クヘシ。 其科日本書ニアリ。 一、郷學校ヨリ横濱學校ニ上リ、横濱學校ヨリ添書ヲ受ケ、東京大學校ニ入ルヲ正則トス。或ハ郷學校ヨリ直チニ大學ニ入ラントスル者、必ス廳下横濱學校ノ檢査ヲ受ケ、添書ヲ受テ大學ニ入ルヘシ。 一、郷學校中課業ヲ卒タル輩ハ、左ノ印章ヲ與フ。是ヲ受クル者學士ノ榮ナリ。

何州何郡何村 何學校教師 何業何某門弟 何州何郡何村 何業何某兄弟 何 誰 何 誰 何 誰

右學術勉勵上等之級課相濟候也 千支 月日 神奈川縣 神奈川縣 神奈川縣 神奈川縣 辛未八月九日

其他餘談遊戲ノ談ヲ

一、生徒ノ階級ハ三等ニ分チ、又是ヲ三ニ分ツ。 初級 十二級 中等 十三級 下等 十六級 上等 十級 十四級 登門